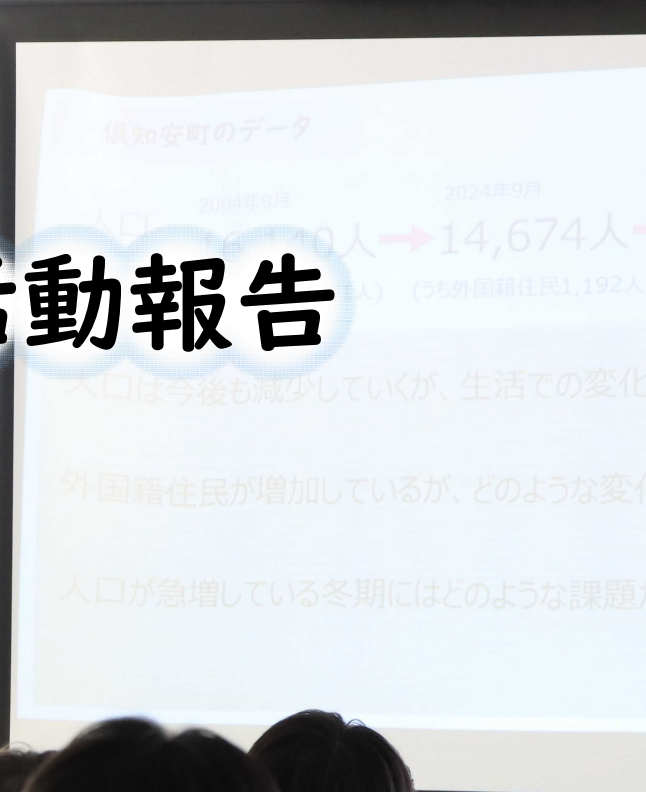


2024年度 地域おこし協力隊 活動報告



まちづくり新幹線課 景観室 景観係
景観まちづくり推進員 濱崎 順平
地域おこし協力隊活動 2023.10～

活動テーマ

「継続的な若い世代への景観意識の醸成」

～景観背景の自然・歴史・文化を子どもたちと一緒に魅力から活用へ～

- 各法令等に基づく届出・地域住民による保全活動など
- 景観 < 1. 風景(景色や建物など目の前に広がるもの)
2. 風土(自然や歴史、文化など風景の背景となるもの)

《今年度の活動概要》

★倶知安町内の子どもたちに向けた

まちづくり教育およびキャリア教育の機会提供

★景観まちづくり活動を通じた**町民全体への景観啓発活動**

★各方面の地域団体への参加、

イベントの参加による**多くの町民との関係構築**

「地域おこし協力隊”はまちゃん”のくっちゃんが好き！」

(教育委員会サーバー内のみ閲覧可能、倶知安中学校のクラスページ上に掲載)

オンライン上の”場”として…

倶知安の大人を知る
ことができる”場”

インタビュー動画



中学生へのメッセージ



地域おこし協力隊を
知ってもらう”場”

全国さまざまな地域の 協力隊紹介コラム

倶知安の歴史の魅力を
知ることができる”場”

倶知安の歴史コラム



イベントを周知して
地域参加を促す”場”

地域のイベント情報

まちづくり教育/キャリア教育

倶知安中学校・倶知安高校での授業・講話を実施

1/23(木) 倶知安中学校3年生総合学習

「倶知安のまちづくり」



「地域探究講話」

2/4(火) 倶知安高校1年生総合学習

まちづくり＝行政だけがやるものではない

まちづくりの主役は倶知安町民

住みやすい倶知安町に
みんなですのために
どうしたいだろうか？



10年後、30年後の
倶知安町はどんな町に
なっていてほしいかしら？

将来の倶知安町のまちづくりを担うのは… 倶知安で育った若い世代

もっと倶知安のことを
知っている人々に
発信しよう！



すべてはできないけど、
仲間たちとこんなこと
だったらできるかも！

《中高生に伝えたこと》

まちづくりの主役はあくまでも“町民”ならば、
将来にわたる地域課題が多い倶知安では
“若い世代の参画”が将来のまちづくりに向けた
重要なポイントでは？

／もっとまちづくりに参加していきたい！／

／倶知安のことをもっと知りたい！／

／自分たちでもできることからやっていきたい！／



町民全体への景観啓発活動

景観だよりの発行（年3回）

町の景観まちづくりに対する取り組みや
町内外での景観まちづくり活動取材して発信

《2024年度の内容》

8月号：ニセコひらふエリアでの「まち活」
倶知安農業高校特集
「倶知安農高ってどんなところ？」



12月号：景観フォトコンテスト作品募集
中標津町での住民主体の
景観まちづくり
4月号(4/1発行予定)：
景観まちづくり協議会「ツクルバ」
景観フォトコンテスト結果発表

町民全体への景観啓発活動

“くっちゃん景観フォトコンテスト2024”開催



景観賞受賞作品（今後俱知安駅周辺に掲出予定）

日ごろ深く考える機会の少ない「景観」を改めて考える機会として開催

テーマ：わたしたちが思うくっちゃんの景観

募集期間：2024.12.1～2025.1.31 応募総数：126点

その他受賞作品は4/1発行の景観だよりにて発表(次年度も開催予定)



町職員への景観啓発活動

“まち活(景観まちづくり活動)”の実施

まちづくりに深く関わっている町職員こそ俱知安のことをもっと知り、俱知安を愛する風土が必要ではないのか？という考えから、町職員向けの活動を実施

出勤時のゴミ拾い (4～11月)

毎月15日にゴミ拾い活動を実施

参加人数：延べ352名

回収量：計約110kg



振興局・消防・ぬくぬくの職員も参加

町内の散策や施設見学



散策企画

・旭ヶ丘公園 ・鏡沼

施設見学企画

・俱知安風土館 ・小川原脩記念美術館
・パークハイアットニセコHANAZONO



参加人数：延べ133名

景観まちづくり協議会「ツクルバ」

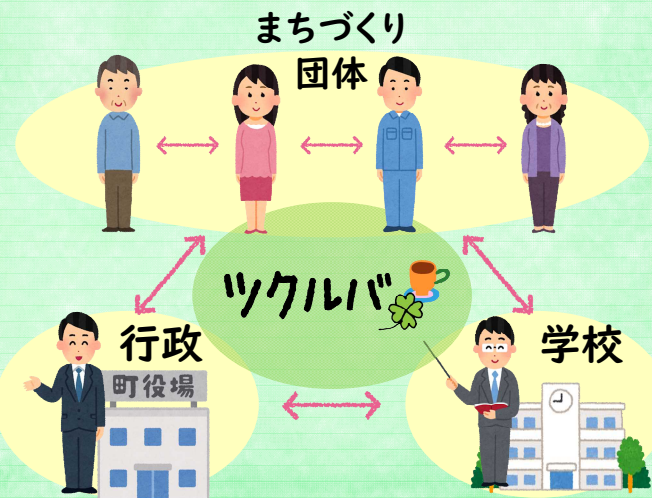
まちづくりの輪を広げる"場"として…

倶知安町景観計画条例に明記された「まちづくりの輪」を広げるための協議会を設置
町内で活動を行っている様々な団体と行政・学校の相互のつながりをつくり、互いに
連携・協力をしていけるようなまちづくりのきっかけづくりができる場として立ち上げました



2/19(水)の初回はBGMを流すなど
ゆるい雰囲気の中で活動の共有や
フォトコンテストの選定作業を行いました

- ①各所との"ゆるい"つながりをつくる場
- ②新たな活動の輪をつくる場
- ③次世代への持続可能なまちをつくる場



くっちゃんアートプロジェクト



所属する"倶知安町まちづくり協働会議"の事業として協力隊・佐藤とともに実施
倶知安の子どもたちと倶知安中学校美術部協力のもと、倶知安駅前に
「わたしたちのくっちゃん自慢」というテーマで約3m×8mのアート作品を作成

期間：2024年6月～8月 協力：鉄道・運輸機構 西松・植木・堀口・戸沼岩崎JV



令和7年度の活動テーマ

- ・継続的な若い世代への景観意識の醸成
- ・若い世代がまちづくりのプレイヤーとして *New*
活躍できる社会環境づくり

具体的な活動内容として・・・

- ①景観まちづくりの輪の拡大
- ②"まち活"の継続的な展開
- ③まちづくり教育/キャリア教育のさらなる展開
- ④中高生の社会参画

景観まちづくりの輪の拡大

ツクルバの本格的な開催

倶知安町における景観まちづくりの輪を広げるベースとして4月以降も継続的に開催



景観フォトコンテストの開催

倶知安町の"景観"を改めて考える機会として、次年度はより参加しやすい期間・形式での開催を予定

今年度の景観賞受賞作品はJR倶知安駅横の北海道新幹線工事仮囲いに掲示します(春頃)
また、入選作品は町内での展示を計画中です



景観だよりの発行

次年度の景観だよりでは、ツクルバの参加団体の紹介などを通じて町内でのさまざまな活動をより広く知ってもらえる場にしていきたいと考えています

"まち活"の継続的な実施

今年も！
今年こそ！

まち活 しませんか？

健康増進 × ノーマイカー × ゴミ拾い

「歩いて」通勤すると・・・

健康に良い！
車を使わずに脱炭素に貢献！
ゴミを拾って町がキレイに！ 一番はコレ！

4月～11月の毎月**15日**に実施します！
※15日が開庁日の場合は翌日もしくは翌々日の平日に実施予定です（悪天候時は断場）

時間：出勤時（8:00～8:40頃）
方法：通勤ルートにゴミがあれば拾っていただき、役場職員玄関にて設置するゴミ箱にて回収します
(その際、分別にご協力ください)

ポイント
家の近くにゴミが溜まりがちなど、ありませんか？

◆育んだ地域への愛着を次の世代につなげる
一歩はたに落ちているゴミを見つけたら拾うなど、
日頃の行動から心に美しい景観文化を育みます
倶知安町景観計画（2023）より

倶知安町景観計画では「四季折々の表情を変える自然のもと、営む人々の生き生きとした姿がこの町の「美しい景観」となる」と定めており、基本方針には上記のような記載があります。

景観計画の「美しい景観文化」を目指すためにも、
まずは「倶知安町の町民」でもある職員の方々が
景観計画の目的を再認識していただき、
町民全体で「キレイな町」を実現するための
“きっかけ”にしていきたいと思います！

(参考)R6年度チラシ

次年度も町職員のゴミ拾いを開催

町職員が関わる景観まちづくり活動の基礎活動として、引き続き毎月15日のゴミ拾い活動を展開

"まち活企画"も引き続き開催

町職員が倶知安のことをもっと知る・再確認する目的で、倶知安風土館・小川原脩記念美術館以外にも町施設見学や散策などを実施

町内の美化活動を実施

今年度実施したひらふ坂周辺のシールはがしや落書きを消すためのペンキ塗りなどの美化活動を来年度も実施
地域のゴミ拾い活動などにも積極的に参加していきます



まちづくり教育/キャリア教育の展開

倶知安高校”学校運営協議会委員”に就任

次年度より高校2年生の地域探究学習(総合学習)に協力するほか、学校運営協議会委員としてCS活動にも携わっていきます

引き続き、小学校・中学校での総合学習にも協力できる範囲で参加し、子ども議会等生徒たちの意見を発信する場のサポートもしていきたいと考えています

”くっちゃんが好き”の各小学校への展開

現在倶知安中学校のみで配信している”くっちゃんが好き”を次年度より各小学校でも閲覧可能にします
これまで以上に地域コラムの配信を強化していきます



社会教育士の取得

これまで以上に学校や子どもたちと関わっていくことが予想され、また中高生がより地域に参画する社会を実現していくにあたって、社会教育活動にも関わる公的資格として取得を目指す

中高生の社会参画

自然や歴史に興味のある中高生の学びの場所づくり

生物部や歴史研究部といった生物分野や歴史分野に興味のある子どもたちの受け皿となる文化部活動がないことから、倶知安風土館(小田桐さん)と連携して主に中高生が風土館に関する分野について学びを深められる場所を立ち上げます
(開始時期・形態などは現在検討中)

調査・研究や発信といった活動を通じて地域の大人たちとの交流を図ります

地域おこし協力隊企画への中高生の参画

じゃが祭りや雪トピアで実施している「協力隊クイズスタンプラリー」などで中高生が準備段階や運営で関与できるような形態にしたいと考えています
今後、協力隊内部でも検討のうえ、各学校と相談し進めていきます

中高生が地域のイベントに参画する機会にして、将来的に中高生自らが"コト"を起こしていけるきっかけづくりにつなげていきます